



令和6年度 第1回 新栄高等学校学校運営協議会 議事録

開催日：令和6年6月24日（月）16:00～17:00

議 題：令和6年度学校評価（目標設定）等についての意見聴取

出席者：学校運営協議会委員5名（欠席2名）＋校長、副校長、教頭、事務長

○令和6年度学校目標、学校運営協議会年間計画等の確認と意見聴取

	意見・質問・感想等
委員 A	<p>■令和6年度学校評価報告書（目標設定）について</p> <p>Q 多文化教育の組織的な取組の具体はあるか。</p> <p>A 継続性を考え、最終的にグループ業務に位置付けたい。組織的な取組になるよう国際交流チームを新たに発足した。生徒の意識調査を年度当初と年度末に行い、生徒の変容を見取りたい。</p>
委員 B	<p>■令和6年度学校評価報告書（目標設定）について</p> <p>Q 在県外国人等特別募集枠とはどのようなものか。</p> <p>A 外国籍を有する者（含む難民認定者）で、入国後の在留期間が通算で6年以内の者及び日本国籍を取得して6年以内の者を対象とした入試選抜制度である。受検科目が一般入試より少なく、面接がある。本校にはこの制度を利用して入学した生徒が20名程度在籍している。在県生徒以外にも外国籍生徒が多数おり、それぞれのルーツを活かして地域イベント等で活躍している。</p>
委員 C	<p>■令和6年度学校評価報告書（目標設定）について</p> <p>・みどり支援学校分教室にも外国籍の生徒が多数在籍しているので、いろいろと教授願いたい。防災の取組について分教室との連携を掲げてくれているのはありがたい。特別支援学校はセンター的機能も有しているので、生徒のアセスメント等で協力できる。</p>
委員 D	<p>■令和6年度学校評価報告書（目標設定）について</p> <p>・多文化をはじめとし、生徒のアウトプット活動の更なる活性化を望む。生徒の励みにもなる。</p>

第1回地域連携部会 16:45～17:00

☆学校より

- ・多文化に係る地域と連携したイベントへの参加を今年度も継続し、生徒が地域において発表、発信する機会を増やして活躍させたい。在県生徒のみならず一般生徒も、日頃の教育活動や部活動の成果を地域に還元することで、生徒の自己肯定感や達成感を醸成したい。
- ・昨年度は、ドイツ・韓国・ボツワナとの交流を実施したが、今年度は新たに台湾との交流を開始する。夏期講習では、現地の高校生とのオンライン交流や駐日大使館等を訪問し、外国語運用能力の向上のみならず、職業観の涵養も図る。
- ・東京横浜独逸（ドイツ）学園とは、バレーボールやバスケットボール等の部活動交流が盛んに行われている。練習後は英語、日本語等を駆使してコミュニケーションを取る機会もあり、異文化理解の深化・充実に繋がっている。